

エコアクション21 環境活動レポート

対象期間 平成31年4月～令和2年3月
令和2年 7月 3日発行



壊して、
生かす。



株式会社 力組

目次

ページ

I 組織の概要	… 3
1) 組織概要に関する情報	
1、事業所及び代表者名	
2、創業	
3、設立	
4、資本金	
5、所在地	
6、環境管理責任者及び担当者連絡先	
7、事業の概要	
8、事業の規模	
9、用途地域	
2) 許可内容・許可一覧	
1、許可の内容	
2、事業の範囲	
3) 施設等の状況	… 4
1、処理施設	
2、積替え・保管施設	
4) 処理工程図	(別紙1)
5) 処理実績	(別紙2・3)
6) 保有車輛・保有施設	
1、保有車輛	
2、保有施設	
3、保管施設	… 5
II 対象範囲	
1) サイト	
2) 事業活動	
3) 要員	
4) 環境活動レポートの対象範囲	
III 環境方針	… 6
IV 環境組織図	… 7
1) 組織図	
2) 役割・責任・権限	
V 環境目標	… 8
VI 環境目標の実績	… 9
VII 環境活動計画・取組結果とその評価、次年度の取組内容・取組状況	… 10
VIII 環境関連法規の取りまとめ表及び遵守状況	… 13
1) 環境関連法規等の順守状況	
2) 違反、訴訟の有無	
IX 産業廃棄物処理業者の優良産廃処理業者認定制度	… 13
X 代表者による全体評価と見直しの結果	… 13

別紙1 (株)力組飛島リサイクルセンター処理工程（フロー図）

I 組織の概要

◆ 1) 組織概要に関する情報 ◆

- 1、事業所及び代表者氏名 株式会社 力組 代表取締役 仲宗根 力
- 2、創業 昭和57年 4月 15日
- 3、設立 平成元年 3月 23日
- 4、資本金 1000万円
- 5、所在地
- ◆本社 〒455-0806 愛知県名古屋市港区明正一丁目143番地
TEL 052-384-0558 FAX 052-382-3739
 - ◆リサイクルセンター 〒490-1444 愛知県海部郡飛島村木場二丁目23番地
TEL 0567-57-0027 FAX 0567-57-0028
 - ◆積替え保管場 リサイクルセンター内
- 6、環境管理責任者及び担当者連絡先
- ◆責任者氏名 仲宗根 彩香
 - ◆担当者連絡先 TEL 052-384-0558 FAX 052-382-3739
E-mail ayaka-n@rikigumi.co.jp
- 7、事業の概要 建設業（とび・土工工事業、解体工事業）
産業廃棄物収集運搬業・産業廃棄物中間処理業

8、事業の規模

活動規模		単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度
売上高		百万円	652	642	831
従業員		人	17	13	15
床 面 積 処 理 量	本社	m2	186.69	186.69	186.69
	リサイクルセンター	m2	1,879.99	1,879.99	1,879.99
	積替え保管場	m2	67.61	67.61	67.61
	収集運搬量	t	2,605	3,435	3,842
	中間処理量	t	5,550	3,645	4,367
	解体工事件数	件	419	401	437

9、用途地域

- ◆本社 近隣商業地域
- ◆リサイクルセンター 工業地域

◆ 2) 許可内容・許可一覧 ◆

1、許可の内容

内容	区分	許可番号	許可年月日	有効年月日
建設業（とび・土工工事業）	愛知県知事許可(般-27)	第34704号	平成28年2月14日	令和3年2月13日
建設業（解体工事業）	愛知県知事許可(般-28)	第34704号	平成28年11月14日	令和3年11月13日
産業廃棄物処分業	愛知県	第 02320047984 号	平成29年7月4日	令和4年6月17日
産業廃棄物収集運搬業	愛知県	第 02310047984 号	平成30年5月7日	令和4年6月9日
	岐阜県	第 02100047984 号	平成29年1月15日	令和4年1月14日
	三重県	第 02400047984 号	平成28年12月11日	令和3年12月10日

2、事業の範囲

中間処理 選別・破碎
収集運搬 愛知県（積替え・保管含む）、岐阜県、三重県

◆収集運搬許可品目：愛知県

積替え・保管を除く … 木くず、紙くず、繊維くず
3品目（水銀使用製品産業廃棄物を含む）

積替え・保管を含む … 廃プラスチック類、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類 3品目（いずれも石綿含有産業廃棄物を含む、水銀使用製品産業廃棄物を含む）
金属くず（水銀使用製品産業廃棄物を含む）

◆収集運搬許可品目：岐阜県

積替え・保管を除く … 木くず、紙くず、繊維くず、金属くず、廃プラスチック類、がれき類、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず 7品目（いずれも石綿含有産業廃棄物を含む）

◆収集運搬許可品目：三重県

積替え・保管を除く … 木くず、紙くず、繊維くず、金属くず、廃プラスチック類（石綿含有産業廃棄物を含む）、がれき類（石綿含有産業廃棄物を含む）、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず（石綿含有産業廃棄物を含む）

◆ 3) 施設等の状況 ◆

1、処理施設（選別施設 i・破碎施設 ii）

◆設置場所 愛知県海部郡飛島村木場二丁目23番地

- i ◆設置年月日 平成14年4月25日
◆処理品目 廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず
(処理能力) がれき類、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず (143.04m³/日)
- ii ◆設置年月日 平成17年3月1日
◆処理品目 がれき類 (4.62 t /日)
(処理能力) ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず (3.63 t /日)

2、積替え・保管施設

◆所在地 愛知県海部郡飛島村木場二丁目23番地
◆処理品目 廃プラスチック類、がれき類、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず
(いずれも石綿含有産業廃棄物を含む)
◆面積 67.61m²
◆保管上限 54.04m³
◆高さ 1m

◆ 4) 処理工程図 ◆ 別紙1に示す

◆ 5) 処理実績 ◆ 別紙2・3に示す

◆ 6) 保有車輛・保有施設 ◆

1、保有車輛

車輛区分	種類	メーカー・型式・車種	容量
車輛(解体)	油圧ショベル	住友SH235X-6	0.7m ³
		コマツPC138US-8	0.45m ³
		コマツPC78US-10	0.25m ³
運搬車輛	コンテナ	日産KK-MK25A	4 t
		いすゞKK-FRR35E4S	4 t
		いすゞ2RG-FRR90S2	3.7 t
	ダンプ	UDSKG-MK38L	3.25 t
		日産PB-MK36A	3.45 t
	キャブオーバー	日産PB-MK36A	3.75 t
車輛(処分)	フォークリフト	トヨタ 7FD30	2,800kg
	ペイローダー	コマツWA100-5	1.3m ³
営業車輛	普通車	トヨタDAA-ZVW30/プリウス	1.79 ℓ
		トヨタDAA-ZVW30/プリウス	1.79 ℓ
		トヨタDAA-NHP10/アクア	1.49 ℓ

2、保有施設

リサイクルセンターは、下記設備をベルトコンベアーで組合せ連続的に処理品目を分別しています。

機械設備	種類	動力・負荷・容量
集塵機ファン	サイクロン、フード付	22kw
ベルトコンベヤ 6基	ベルトフィーダー B 1	900W×4.5メートル
	ベルトコンベヤー B 4	750W×20.3m
	ベルトコンベヤー B 2	600W×17.2m
	ポータブルベルトコンベヤー B 5	450W×5メートル
	ベルトコンベヤー B 3	600W×8.5m
	ポータブルベルトコンベヤー B 6	500W×5m
破砕機	6P低圧全閉外扇型	22KW
フルイ機	一次振動フルイ機	5 f t ×14 f t -2段
	二次振動フルイ機	4 f t ×12 f t -1段
磁選機	モーター2個	2.6kw、2.2kw

3、保管施設

施設種類	種類	保管施設	保管面積	最大保管量
選別前保管施設	混合物	ストックヤード A	170.27 m ²	113.51 m ³
	混合物	ストックヤード B	12.56 m ²	4.19 m ³
	混合物（湿）	ストックヤード C1	44.8 m ²	20.16 m ³
	混合物（湿）	ストックヤード M	73.53 m ²	72.55 m ³
選別後保管施設	ガラスくず	ストックヤード C2	21 m ²	9.45 m ³
	ガラスくず	とん袋12ヶ C3	11.4 m ²	12.54 m ³
	廃プラ	コンテナ D2	6.88 m ²	8.05 m ³
	繊維くず	コンテナ D3	6.88 m ²	8.05 m ³
	紙くず	コンテナ D4	6.88 m ²	8.05 m ³
	木くず	コンテナ D5	6.88 m ²	8.05 m ³
	金属くず	コンテナ E	6.88 m ²	8.05 m ³
	混合物	ストックヤード H	28.26 m ²	14.13 m ³
	がれき類	ストックヤード K	48 m ²	21.33 m ³
	ガラスくず	とん袋13ヶ L	12.35 m ²	13.59 m ³
	ガラスくず	コンテナ D1	2.12 m ²	2.1 m ³
	ガラスくず	ストックヤード F	28.26 m ²	14.13 m ³
破砕前保管施設	混合物	ストックヤード G	12.56 m ²	4.19 m ³
破砕後保管施設	ガラスくず	コンテナ I	6.88 m ²	8.05 m ³
	がれき類	ストックヤード N	28.26 m ²	14.13 m ³

Ⅱ 対象範囲

◆ 1) サイト ◆

- ◆ 本社 〒455-0806 愛知県名古屋市港区明正一丁目143番地 (186.69m²)
- ◆ リサイクルセンター 〒490-1444 愛知県海部郡飛島村木場二丁目23番地 (1879.99m²)
- ◆ 積替え保管場 リサイクルセンター内 (67.61m²)
- ◆ 解体 各解体現場

◆ 2) 事業活動 ◆

建設業（とび・土工工事業、解体工事業）
産業廃棄物収集運搬業・産業廃棄物中間処理業

◆ 3) 要員 ◆

全従業員

◆ 4) 環境活動レポートの対象範囲 ◆

今年度の活動は平成31年4月～令和2年3月とし、
次年度は、令和2年4月～令和3年3月といたします。

Ⅲ 環境方針

基本理念

株式会社力組は、解体業と産業廃棄物処理業に両軸において事業展開しています。『壊して、生かす。』をモットーに事業活動の中で解体現場から最終処分までの責任を担い、産業廃棄物リサイクル向上を目指して、循環型社会構築への取組を積極的かつ継続的に行います。

基本方針

1 環境法規等の遵守

事業活動にあたって、法規制・条例及びその他の要求事項を遵守します。

2 二酸化炭素排出量の削減

電力使用量削減、またエコドライブを徹底して二酸化炭素（CO₂）の排出量を削減します。

3 廃棄物リサイクル率の向上

廃棄物の最終処分量を減らし、リサイクル率の向上に取り組みます。

4 解体工事現場における負荷低減

現場での分別解体を徹底します。

現場周辺への騒音、振動、ほこり、交通の妨害等起こさない様努力します。

5 排水量の削減

節水に努め、排水量の削減に取り組みます。

6 グリーン購入

事業活動を通じ、グリーン購入を推進します。

制定 平成22年9月1日

改定 平成23年6月15日

株式会社 力 組
代表取締役 仲宗根 力

Ⅳ 環境組織図

◆ 1) 組織図 ◆



◆ 2) 役割・責任・権限 ◆

役職	役割・責任・権限
代表者	1、環境方針作成・環境管理責任者任命 2、取組に対する資源を準備 3、取組状況の評価と見直し
環境管理責任者	1、環境管理システム総責任者 2、環境目標・環境活動計画の作成 3、文書の作成・システム運用の事務管理 4、環境管理活動計画の実績集計 5、環境活動レポートの作成 6、教育実施・状況・結果確認 7、環境活動レポートの確認
各サイト責任者	環境目標達成するための活動の推進・提案
全従業員	自主的・積極的に環境活動へ参画 ・エコドライブ、空調管理、節電の徹底 ・分別解体、廃棄物選別 ・節水

V 環境目標

環境目標・取組みの基本方針

事業活動が環境にどのような影響を与えているのかを考え、化石燃料、電力使用による

二酸化炭素排出量の削減、及び水使用量の削減、また、廃棄物リサイクル率(以後、R C 率とします) の向上、グリーン購入などを重点に取組みます。

				単位【原単位】	基準数値 H28.4-H29.3	【第8期】目標 H30.4-H31.3	【第9期】目標 H31.4-R2.3	【第10期】目標 R2.4-R3.3	【第11期】目標 R3.4-R4.3	前年比 (%)
二 酸 化 炭 素 排 出 量 の 削 減	電力	産廃部門		kWh/廃棄物処分量 t	3.65	3.58	3.54	3.50	3.47	1
				kg-CO2/廃棄物処分量 t	1.81	1.77	1.76	1.74	1.72	
		本社		kWh	5061	4960	4909	4859	4808	1
				kg-CO2	2429	2381	2356	2332	2308	
	燃料	産廃部門		ℓ /廃棄物処理量 t	3.77	3.73	3.71	3.69	3.68	0.5
				kg-CO2/廃棄物処理量 t	10.08	9.98	9.93	9.88	9.83	
		解体 工事 部門	解体重機	ℓ /廃棄物現場排出量 t	3.79	3.79	3.79	3.79	3.79	---
				kg-CO2/廃棄物現場排出量	9.95	9.95	9.95	9.95	9.95	
		営業車両	ℓ	5040	把握	把握	把握	把握	---	
			kg-CO2	11702	把握	把握	把握	把握		
廃 棄 物 上 R C 率	産廃	産廃部門		再資源化量 t /廃棄物処 分 量 t ×100	88.49	88.49	88.49	88.49	88.49	---
		解体工事部門		再資源化量 t /廃棄物現場 排出 量 t ×100	81.22	82.03	82.44	82.84	83.25	0.5
	一廃	本社		再資源化量 t /廃棄物社内 排出 量 t ×100	34.65	35.0	35.2	35.3	35.5	0.5
排 水 量 削 減	水使用量	産廃部門		m³/廃棄物処分量 t	0.0350	0.0347	0.0345	0.0343	0.0341	0.5
		解体工事部門		m³/廃棄物現場排出量 t	0.0782	0.0782	0.0782	0.0782	0.0782	---
		本社		m³	46	45.1	44.6	44.2	43.7	1
グリーン購入				点	12	12	12	12	12	---
電子マニフェス ト導入		一次		1次電子マニフェスト枚/全1次マ ニフェスト枚×100	54.2	55.284	55.826	56.368	56.910	1
		二次			—	準備	準備	準備	準備	---

- ・電力の二酸化炭素排出係数は中部電力(株)の平成28年度、0.480を使用しています。
- ・当社は、化学物質については使用はありません。

条件：平成27年9月まで本社はビルを借用しており水道、電力については一括請求のため数値が把握できず、節電・節水の努力をしていましたが、平成27年10月の本社移転により水道、電力の数値が測れることとなり、平成28年度の数値を基準値とし、すべての目標値を見直ししております。

- ・本社電力、営業車両燃料、本社排水量は原単位ではなく実数値です。

VI 環境目標の実績

				単位【原単位】	基準数値 H28.4-H29.3	【第9期】目標A H31.4-R.2.3	【第9期】実績B H31.4-R.2.3	B/A	評1 ※1	目標達成・ 未達の原因等
二 酸 化 炭 素 排 出 量 の 削 減	電力	産廃部門		kWh/廃棄物処分量 t	3.65	3.54	2.87	0.81	○	処分量 t に対する電力kwhの減少が達成原因の一つ。 (H28年 15774kwh/4318t ⇒ H31年 12814kwh/4367t)選別機の稼働が少なかった。
				kg-CO2/廃棄物処分量 t	1.81	1.76	1.38	0.78	○	
		本社		kwh	5,061	4,909	3,814	0.78	○	実数値の把握に努め、節電に努めることができていた。
	燃料	産廃部門		ℓ/廃棄物処理量 t	3.77	3.71	2.70	0.73	○	エコドライブ等の実施ができていた。
				kg-CO2/廃棄物処理量 t	10.08	9.93	7.07	0.71	○	
		解体工事部門	解体重機	ℓ/廃棄物現場排出量 t (自社施工)	3.79	3.79	3.47	0.92	○	大規模現場でも、休憩時や重機の未使用時にエンジンオフする等の取り組みができていた
				kg-CO2/廃棄物現場排出量 t (自社施工)	9.95	9.95	8.89	0.89	○	
		営業車両	ℓ	5,040	—	3,751	—	○	実数値の把握に努め、エコドライブを継続することができていた	
廃 棄 物 R C 率 向 上	産廃	産廃部門	再資源化量 t/廃棄物処分量 t ×100	88.49	88.49	87.94	0.994	×	選別・分別の努力不足であった	
		解体工事部門	再資源化量 t/廃棄物現場全排出量 t ×100	81.22	82.44	81.90	0.99	×	現場での選別・分別の努力不足	
	一廃	本社	再資源化量 t/廃棄物社内排出量 t ×100	34.65	35.2	35.42	1.01	○	社内での推進をより心掛けることができた。	
排 水 量 削 減	水使用量	産廃部門	m³/廃棄物処分量 t	0.0350	0.0345	0.0180	0.52	○	節水を徹底できていた	
		解体工事部門 ※1	m³/廃棄物現場全排出量	0.0782	0.0782	0.0691	0.88	○	粉塵等飛散防止や現場清掃のため水使用量の増加があったが節水に努めることができた	
		本社	m³	46	44.6	55	1.23	×	実数値の把握に努め、節水に努めることができていたがまだ努力が必要	
グリーン購入				点	12	12	16	1.33	○	優先して購入できていた
電子マニフェスト導入		一次	1次電子マニフェスト枚/全1次マニフェスト枚×100	54.2	55.826	86.170	1.54	○	電子マニフェスト加入業者の優先ができていた	
		二次		—	準備					

※1 単純比較でB/Aが削減目標において1以下、向上目標では1以上なら目標達成で○印、それ以外は目標未達で×印。

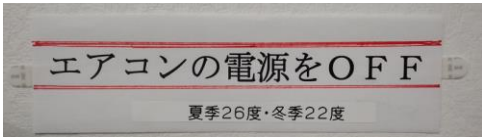
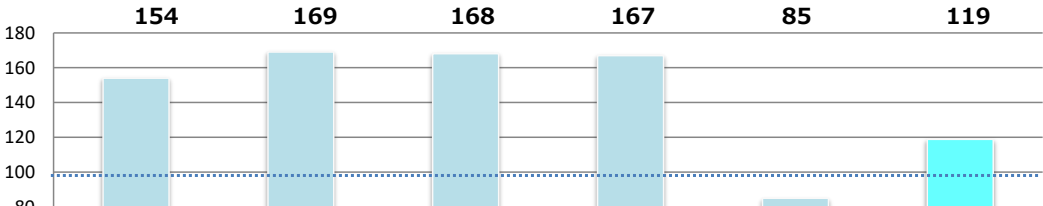
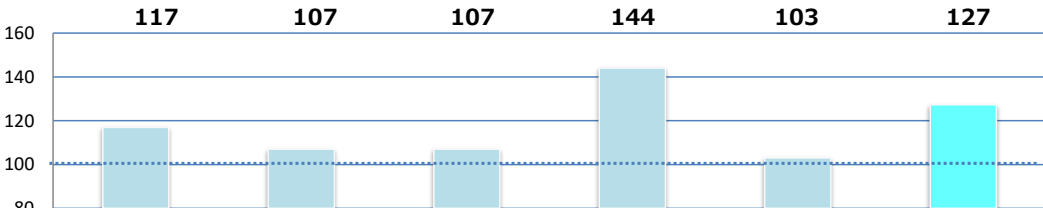
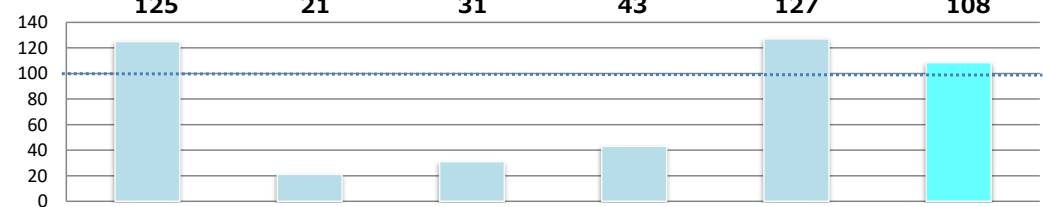
実績値	電力 k w h	軽油 ℓ	ガソリン ℓ	収集運搬量 t	処分量 t	再資源化量 (処分) t	全排出量 t	全再資源化量 (排出) t	排出量 (自社施工) t	再資源化量 (自社施工) t	排水量 m³
解体	—	17,551	3,751	—	—	—	10,521	8,922	6,439	4,348	727
産廃	12,814	22,059	333	3,842	4,367	3,921	—	—	—	—	82
本社	3,814	—	—	—	0.048	0.017	—	—	—	—	55

実績値	電子マニ 枚	紙マニ 枚
解体 一次	1,845	296
産廃 二次	0	675

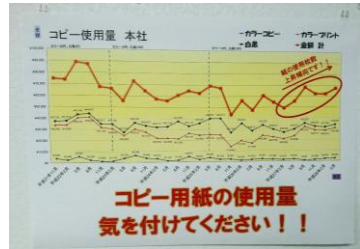
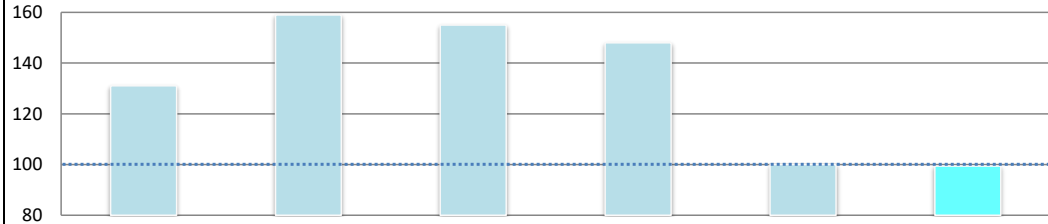
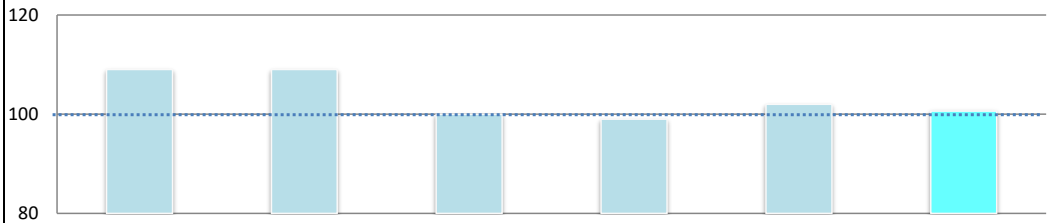
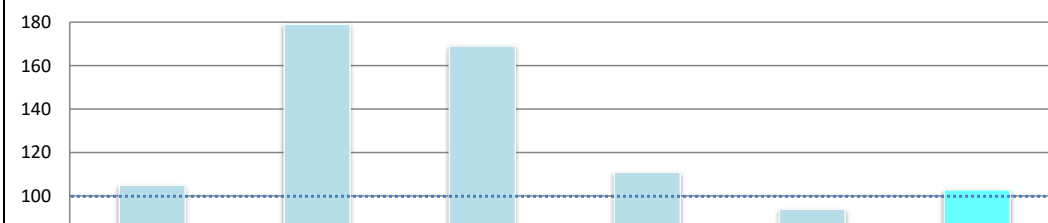
k g -CO2	電力	軽油	ガソリン	
解体	—	46,060	8,709	
産廃	6,151	57,890	772	
本社	1,831	—	—	総合計
合計	7,982	103,950	9,481	121,413
昨年度	9,864	118,212	12,662	140,738

Ⅶ 環境活動計画・取組結果とその評価、次年度の取組内容・取組状況

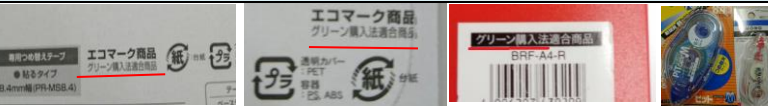
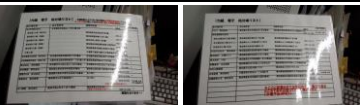
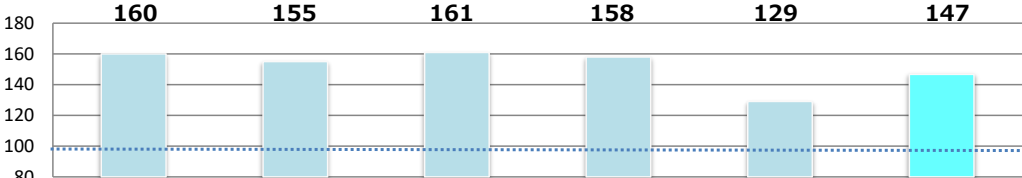
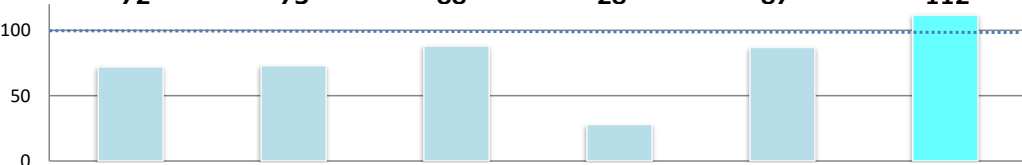
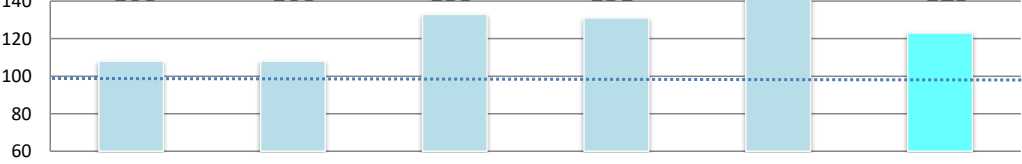
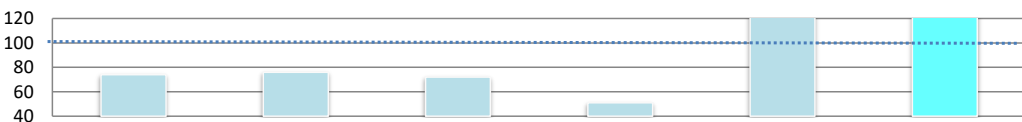
第9期・環境活動計画(平成31年4月～令和2年3月)

1.二酸化炭素の排出量の削減														取組状況	
運用期間環境目標		平成31年						令和2年						取組内容	
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
取組内容	毎月の電力使用量の把握	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	節電管理  エコドライブ10のシールを車両に添付、ポスター社内掲示（見える化）、車両管理     
	照明・冷暖房・PC時間管理														
	冷暖房温度設定(夏季26℃、冬季22℃)														
	4.空調設備点検（フィルター清掃）														
	5.太陽光発電使用状況点検														
取組内容	機械設備稼働状況調査														
	毎月の燃料使用量の把握	○													
	エコドライブの徹底														
	車両日報の提出徹底	○													
	機械等の自主点検の実施														
達成率 (%)		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		評価	次年度の取組内容
電力		154		169		168		167		85		119		周知することで意識向上につながっているが徹底していく。	継続
															
燃料（産廃）		117		107		107		144		103		127		エコドライブや車両日報の提出努力がみられ、実施されている	継続
															
燃料（現場）		125		21		31		43		127		108		実施されているが、遠方の現場や規模の大きい現場ではさらに意識を上げる特に県外現場への対策を考える	継続
															

第9期・環境活動計画(平成31年4月～令和2年3月)

2.廃棄物リサイクル率の向上														取組状況													
運用期間環境目標				平成31年						令和2年						現場では解体後の廃棄物の徹底分別、事務所での梱包材・段ボール等紙類はリサイクル業者へ   裏紙用紙の使用、マニフェスト管理・保管・啓発   											
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3												
取組内容	毎月の廃棄物排出量の把握			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○													
	廃棄物分別の徹底																										
	梱包材・段ボール等紙類のリサイクル																										
	コピーの裏紙使用徹底			○			○			○			○														
	廃棄物の資源化率向上																										
	マニフェスト管理・保管																										
達成率（％）				平成26年度			平成27年度			平成28年度			平成29年度			平成30年度			平成31年度			評価				次年度取組内容	
リサイクル率（産廃）				131			159			155			148			100			99			日々の管理・廃棄物量等の把握がきちんと出来、実施されているが今後も徹底していく				継続	
																											
リサイクル率（本社）				109			109			100			99			102			101			分別を徹底し実施されているがさらに努力が必要				継続	
																											
リサイクル率（現場）				105			179			169			111			94			103			現場での選別を徹底しており再生処分率を高めるよう意識し、実施されているがさらに努力が必要				継続	
																											

第9期・環境活動計画(平成31年4月～令和2年3月)

3.排水量の削減													取組状況	
運用期間環境目標		平成31年											令和2年	
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2		
取組内容	毎月の水使用量の把握		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	 現場ではホース先には原則ノズルを着用 節水の意識向上に努めた
	節水の徹底		○		○		○		○		○			
	水漏れ等の点検													
4.グリーン購入の推進													取組状況	
取組内容	グリーン購入量の把握		○					○					 グリーン購入法適合商品の優先購入	
	事務用品のグリーン率先購入		○					○						
5.電子マニフェスト導入													取組状況	
取組内容	電子マニフェスト取扱い会社の把握・優先		○					○					 取引先の電子マニフェスト加入業者の 一覧表を配布し従業員全員で把握	
	取引先への電子マニフェスト導入を推進		○					○						
達成率 (%)		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	評価		次年度の取組内容				
水使用量（産廃）								実施されている		継続				
水使用量（現場）								解体現場では現場規模や周辺への環境配慮のため徹底が難しいが、意識することを心掛ける		継続				
グリーン購入								優先して購入できており、実施されている		継続				
1次電子マニフェスト								電子マニフェスト取扱い会社の把握はできており、取扱い会社自体年々増加しているが現状問題となっている 下請会社への導入推進をさらに努力する		継続				
2次マニフェスト		準備						電子マニフェストへ移行のための資料の準備 来年度にはスタートさせたい		継続				

VIII 環境関連法規の取りまとめ表及び遵守状況

1) 環境関連法規等の順守状況

環境関連法規については、遵守状況を確認した結果、下記法規を遵守していることを確認しました。

「環境基本法」・「建設リサイクル法」・「廃掃法」・「家電リサイクル法」・「フロン排出抑制法」・
「振動規制法」・「騒音規制法」・「浄化槽法」・「消防法」・「オフロード法」・「大防法」・
「廃棄物の適正な処理の促進に関する条例」・「県民の生活環境の保全等に関する条例」

2) 違反、訴訟の有無

過去3年間、関係各機関から特に指摘・指導は無く、訴訟も1件もありませんでした。

IX 産業廃棄物処理業者の優良産廃処理業者認定制度

環境保全への取り組み及び遵法性については、エコアクション21環境経営システムの運用を継続し、
認定取得を目指します。

X 代表者による全体評価と見直しの結果

1・ 見直し 関連 情報	項目		確認
	1	環境目標及び目標達成状況	☒ 継続して取り組みます
	2	環境活動計画及び取組実施状況	☒ 継続して取り組みます
	3	環境関連法規要求一覧及び順守状況	☒ 確認しました
	4	外部コミュニケーション・対応記録	☒ 特にありませんでした
	5	問題点の是正・予防措置の実施状況	☒ 特にありませんでした
	6	その他	☒ 特にありませんでした

2・ 代表者 による 全体 評価・ 見直し 指示	レポート結果の報告を受け、「産業廃棄物（産廃部門・解体部門）リサイクル率」、「本社排水量」において目標未達成に終わってしまいました。		
	要因としては		
	・「廃棄物」産廃部門においては混合廃棄物の選別作業の減少、解体工事部門では排出量と再資源化量の割合から、繁忙期の現場内選別・分別が行き届いていない場合もあったように思う。		
	・「排水量」本社においては節水を意識して取組はしているが、さらに努力をしてもらい次回は目標を達成したいと思います。		
	意識は高く持っているが遠方の現場や現場規模の違いがある中での現場内の選別分別の平準化と節水を意識しながら、会社全体で取り組んでいこう努力したいと思います。		
	令和2年7月2日 株式会社 力組 代表取締役 仲宗根 力		
	見直し項目		変更の必要性 有の場合の指示事項等
	1	環境方針	有 ☐ 無 ☒
	2	環境目標	有 ☐ 無 ☒
	3	環境活動計画	有 ☐ 無 ☒
	4	その他のシステム要素	有 ☐ 無 ☒
	5	その他（外部への対応）	有 ☐ 無 ☒

別紙1：「産業廃棄物処理工程図」

2019年 6月 1日現在

No.	廃掃法上の分類	具体的な品目分類	搬入 割合	中間処理業者名 (許可番号)	処理内容		中間処理	リサイクル業者名 (許可番号)	リサイクル方法 製品名	リサイクル 成形品	最終処分業者名 (許可番号)	処理内容
1	建設混合廃棄物	建設工事において発生する混合物	100	(株)力組 愛知県:02320047984	選別	1次フルイ機→コンベア→ 2次フルイ機→集塵機	木くず	フルハシEPO(株) 愛知県:02320028236	破碎→再生 燃料チップ			
							がれき類	共英産業(株) 愛知県:02320035600	破碎→再生 路盤材			
							がれき類 壁土				クリーン開発(株) 愛知県:02330045711	管理型埋立
							がれき類 壁土				(株)ミダックはまな遠州クリーンセンター 静岡県:06331009796	管理型埋立
							紙くず	(株)宮崎 名古屋市:06420015346	圧縮→再生 原紙			
							繊維くず	(株)エコテック 三重県:02429077314	破碎→再生 ワラ・堆肥			
							廃プラスチック類	(株)アビツ 名古屋市:06420110592	破碎圧縮形成→再生 燃料・有価物			
							がれき類	(株)昭和建設 名古屋市:06420006148	破碎→再生 路盤材			
							がれき類	湖北総合開発(株) 滋賀県:02520047836	破碎→再生 防護砂・改良土			
							がれき類	(株)オザキ 岐阜県:02121027429	破碎→再生 路盤材			
							がれき類	山田花子(山田建材) 愛知県:02320054178	破碎→再生 路盤材			
							がれき類				札馬砕石工業(株) 兵庫県:02834137711	安定型埋立
							ガラス陶磁器くず				札馬砕石工業(株) 兵庫県:02834137711	安定型埋立
							ガラス陶磁器くず	(株)オザキ 岐阜県:02121027429	破碎→再生 路盤材			
							ガラス陶磁器くず	(株)タイヨー 愛知県:02320004980	選別	ガラス陶磁器くず	札馬砕石工業(株) 兵庫県:02834137711	安定型埋立
						1次フルイ機→磁選機	金属くず	(株)東洋商事 愛知県:02320082878	破碎→再生			
						1次フルイ機→コンベア→ 2次フルイ機→破碎	がれき類	共英産業(株) 愛知県:02320035600	破碎→再生 路盤材			
							がれき類	(株)昭和建設 名古屋市:06420006148	破碎→再生 路盤材			
1	建設混合廃棄物	建設工事において発生する混合物	100	(株)力組 愛知県:02320047984	選別	手選別	廃プラ・紙・繊維・木 がれき類・ガラスの混合物	(株)タイヨー 愛知県:02320004980	選別	廃プラ・紙くず 繊維くず	(株)サニックス 三重県:02423002851	破碎 燃料化
										木くず	フルハシEPO(株)愛知第二工場 愛知県:02320028236	破碎 燃料チップ
										繊維くず	(株)エコテック 三重県:02429077314	破碎 ワラ・堆肥
										廃プラ・木くず 紙くず・繊維くず	エコムカワムラ(株) 岐阜県02121050046	選別・破碎 リサイクル
										木くず 紙くず・繊維くず	クリーン開発(株) 愛知県02330045711	管理型埋立
										木くず 紙くず・繊維くず	(株)ヤマゼン上野処分場 三重県:02448004947	管理型埋立
										がれき類 ガラス陶磁器くず	札馬砕石工業(株) 兵庫県:02834137711	安定型埋立
										木くず 紙くず・繊維くず	(公財)愛知臨海環境整備センター 愛知県:02330045239	管理型埋立
										ガラスくず	(公財)愛知臨海環境整備センター 愛知県:02330045239	安定型埋立

別紙1:「産業廃棄物処理工程図」

2019年 6月 1日現在

[illegible]

別紙2：環境への負荷チェック（取りまとめ表）

		単位	31年 産廃	31年 現場	31年 産廃+現場
温室効果ガス排出量	二酸化炭素	Kg-CO2	64,813	56,599	121,412
受託した産業廃棄物の処理量	収集運搬量	t	3,842		3,842
	中間処理量	t	4,367		4,367
	うち再資源化等量	t	4,367		4,367
	最終処分量	t	0		0
	中間処理後の産廃の処分量	t	4,362		4,362
	うち再資源化等量	t	3,921		3,921
廃棄物排出量及び 廃棄物最終処分量	一般廃棄物	再資源化量	t	0.02	0.02
		最終処分量	t	0.04	0.04
		再資源化率	%	35	35
	産業廃棄物	再資源化量	t	8,922	12,854
		中間処分量	t	1,539	1,539
		最終処分量	t	60	506
		再資源化率	%	85	86
総排水量	公共用水域	m3	82	782	864
	下水道	m3	0	0	0
水使用量	上水	m3	82	782	864
	工業用水	m3	0	0	0
	地下水	m3	0	0	0
化学物質使用量		kg			
エネルギー使用量	購入電力	MJ	125,962	37,492	163,454
	建設現場等の購入電力	MJ	0	0	0
	化石燃料	MJ	854,156	129,787	983,943
	新エネルギー	MJ	0	8,402	8,402
	その他	MJ	0	0	0
資源等使用量	資源使用量	t			
	循環資源使用量	t			

収集運搬量及び中間処理量はm³を t 換算した数値です。

中間処理後の産業廃棄物量の数値は計量による実測値です。

化学物質の使用はありません。

別紙3：受託した産業廃棄物の処理量

平成31年度（平成31年4月 ～ 令和2年3月）

処理方法等		廃棄物等種類	処分方法等	処理量 t
収集運搬		木くず		1288.5
		コンクリート・アスファルトがら		719.4
		その他がれき類		729.0
		ガラス・陶磁器くず		133.6
		紙くず		0.0
		金属くず		0.0
		混合廃棄物		443.0
		繊維くず		13.3
		廃石膏ボード		223.0
		廃プラスチック類		111.8
		石綿含有産業廃棄物		179.9
	収集運搬量合計			
中間処理		ガラス・陶磁器くず	選別	75.0
		がれき類	選別	3964.3
		混合廃棄物	選別	198.8
		木くず	選別	22.3
		紙くず	選別	0.0
		繊維くず	選別	36.0
		廃石膏ボード	選別	54.0
		廃プラスチック類	選別	16.4
	うち再資源化等	ガラス・陶磁器くず	選別後 再資源化、最終処分	75.0
		がれき類	選別後 路盤材化	3964.3
		混合廃棄物	選別後 燃料チップ・紙・路盤材として再資源化、最終処分	198.8
		木くず	選別後 燃料化	22.3
		紙くず	選別後 紙として再資源化	0.0
		繊維くず	選別後 ワラ堆肥化	36.0
		廃石膏ボード	選別後 石膏粉・紙として再資源化	54.0
		廃プラスチック類	選別後 燃料化、最終処分	16.4
	再資源化等量小計			4366.8
中間処理合計				4366.8
最終処分				
最終処分量合計				0
中間処理後の産業廃棄物	最終処分	ガラス・陶磁器くず	安定型最終処分場（委託）	43.0
		がれき類	管理型最終処分場（委託）	265.4
	再資源化等	木くず	委託後、燃料チップ・紙として再生利用（売却）	22.3
		がれき類	委託後、路盤材として再生利用（売却）	3755.2
		廃プラスチック類	委託後、燃料として再生利用(売却)	15.4
		紙くず	委託後、紙として再生利用（売却）	0.0
		ガラス陶磁器くず	委託後、路盤材として再生利用（売却）	32.0
		繊維くず	委託後、ワラ堆肥として再生利用（売却）、中間処理業者に委託	36.0
		廃石膏ボード	委託後、石膏粉・紙として再生利用(売却)、中間処理業者に委託	49.2
		金属くず	委託後、金属として再生利用（売却）	11.08
		再資源化等量小計		3921.2
		混合廃棄物	委託後、再生利用できるものとそれ以外は最終処分	131.4
		廃プラスチック類	委託後、燃料として再生利用(売却)それ以外は最終処分	1.0
中間処理後処分量合計				4362.0

※中間処理量はmを t 換算した数値です。
※中間処理後の産業廃棄物量の数値は計量による実測値です。